

静岡ブロック協議会 2024 年度 基本運営方針(案)

I 委員会の配置について

① アカデミー委員会【継続】

- 1 理念共感拡大グランドデザインを基軸とした JC 教育の実地(継続)
- 2 理念教育に基づく会員拡大の実地と会員資質向上
- 3 ブロックアカデミーの支援・推進(プロ連)
- 4 理念共感拡大グランドデザインの実地・検証(重点目標 1～3)
- 5 LOM への拡大支援
- 6 本会・東海地区協議会の事業・運動の推進及び連携

資格:出向者は入会 3 年未満かつ、各 LOM2 名以上

② ビジネス委員会【継続】

- 1 4 つの機会を生かした持続可能なビジネスの発展のための企画・実地(継続)
- 2 地域の魅力あるコンテンツをビジネスチャンスと捉える企画・実地
- 3 新たなビジネスを展開できるような学びの機会の創出
- 4 LOM が躍動する協議会による新たな支援モデルの構築(プロ連)
- 5 LOM への拡大支援
- 6 本会・東海地区協議会の事業・運動の推進及び連携

資格:出向者は各 LOM1～2 名程度

③ ブロック大会実行委員会【名称変更】

- 1 第 57 回静岡ブロック大会の運営
- 2 総活躍社会実現のための企画・実地
- 3 静岡の魅力を発信するための運営・企画・実地
- 3 地区・ブロック協議会との連携による地域の魅力発信の企画・実地[地区連][プロ連]
- 4 LOM への拡大支援
- 5 本会・東海地区協議会の事業・運動の推進及び連携

資格:出向者は各 LOM1～2 名程度

- ④ 魅力あふれる静岡創造委員会【名称変更】(案)
- 1 地域特性を学び、魅力として発信するための企画・実地
 - 2 持続可能なコミュニティを形成するための企画・実地
 - 3 地域と JC の連携を更に強める機会(価値向上)
 - 4 新たなコミュニティウェルビーイングの実現
 - 5 LOM への拡大支援
 - 6 本会・東海地区協議会の事業・運動の推進及び連携

資格:出向者は各 LOM1~2 名程度

- ⑤ 事務局【継続】
- 1 各種会議の設営、資料管理並びに議事録の作成
 - 2 本会、地区協議会、各種会員会議所との相互調整
 - 3 会頭公式訪問の実地
 - 4 ブロック会長公式訪問の実地
 - 5 ホームページの管理および運営
 - 6 SNS の管理および運営
 - 7 その他協議会運営に必要とされる業務の遂行

資格:出向者は若干名の希望者とする(東部/中部/西部より 1~2 名程度)

- ⑥ 財政局
- 1 協議会の会計管理並びに公益事業目的の確認
 - 2 協議会におけるコンプライアンス管理
 - 3 本会並びに会計監査人グループとの連絡調整

資格:趣向者は若干名の希望者とする(東部/中部/西部 1 名程度)

また、東海地区協議会財政審査特別委員会への出向を伴うものとする。

II 委員会運営について

- 1 各地会員会議所の共通する課題を捉えた事業の展開を図る
- 2 担当副会長との密な連絡により、各委員会の円滑な運営を図る。
- 3 委員会開催にあたり、十分な連絡と調整により全委員が出席できるよう努める。
- 4 委員会は、以下のとおりスタッフを選任することができる
副委員長 3 名以上 5 名以内

運営幹事 1 名以上 3 名以内

会計幹事 1 名

- 5 委員会は、委員長副院長並びに運営幹事の自主的な運営により開催し、事業実地後はすみやかに報告書を提出することを義務付ける。
- 6 委員会は、各月に出向者のための委員会を開催し、その内容を直近の役員会議、会員会議所にて、報告書の提出を義務づける。
- 7 副委員長は、委員長と連絡を密にして、委員長を補佐する。
- 8 運営幹事は、委員長並びに副委員長の補佐として各会議の運営並びに連絡等に関わる業務を行う。
- 9 会計幹事は、委員会会計を統括し、委員長並びに財政局長との調整により適切な会計処理を行う。

Ⅲ 各種会議の開催について

- 1 合同会議は年 2 回とし、1 月、10 月に開催する。ただし、災害、疫病等の状況により中止もある。
- 2 上記以外の委員会の開催は委員会によって決定するが、各月 1 回を基本とする。
なお、開催に当たり最低一か月前までに各委員に示すものとする。
- 3 会議に当たってはメンバー全員が出席できるよう配慮する。
- 4 諸会議のペーパーレスでの実地を原則とし、効果的な運営を図る。
また、一部の会議にあっては、在宅会議にて実地する。
- 5 諸会議の開催については別に定める。

Ⅳ 財政の運営について

- 1 公益法人会計基準及び公益社団法人日本青年会議所が採用する会計基準に準拠し、効果的で且つ、適切な運営を図る。
- 2 会費、登録料については、予算のチェックを適正に行い、収支差のない運営を図る。
- 3 事業費および委員会費については、予算準拠主義を基調として行うものの、それぞれに事業の持つ無限の可能性を制限しないよう決算準拠主義とのバランスを持たせ会計管理を行う。

Ⅴ 公式訪問について

- 1 公益社団法人日本青年会議所、東海地区協議会、静岡ブロック協議会に関わる認識を深め、当年度及び、年度以降の静岡ブロック協議会への要望並びに意見交換の場とすることを目的とする。
- 2 原則として、静岡ブロック協議会役員による例会訪問形式にて実地する。
ただし、災害、疫病等の状況により延期・中止・WEB 開催もある。
- 3 別紙スケジュールに基づき開催する。
- 4 事務局は幹事 LOM と十分に連絡を密にし、コンセンサスを図る。

Ⅵ ブロック大会について

- 1 青年会議所運動に関する意義の高揚と行動に繋げる場とするともに、市民に青年会議所運動を発信する場として開催する。
- 2 ブロック大会担当委員会を設置し、主管 LOM との十分な連携を図り、企画運営を行う。
- 3 本大会の主管は公益社団法人島田青年会議所とする。
- 4 ブロック大会の登録は、全会員登録とする。

Ⅶ ブロック選出による公益社団法人日本青年会議所出向委員について

- 1 静岡ブロック協議会における出向委員は、各地青年会議所理事長の責任ある推薦をもって選出する。
- 2 委員は、原則として会員会議所会議並びに委員会に出席する。